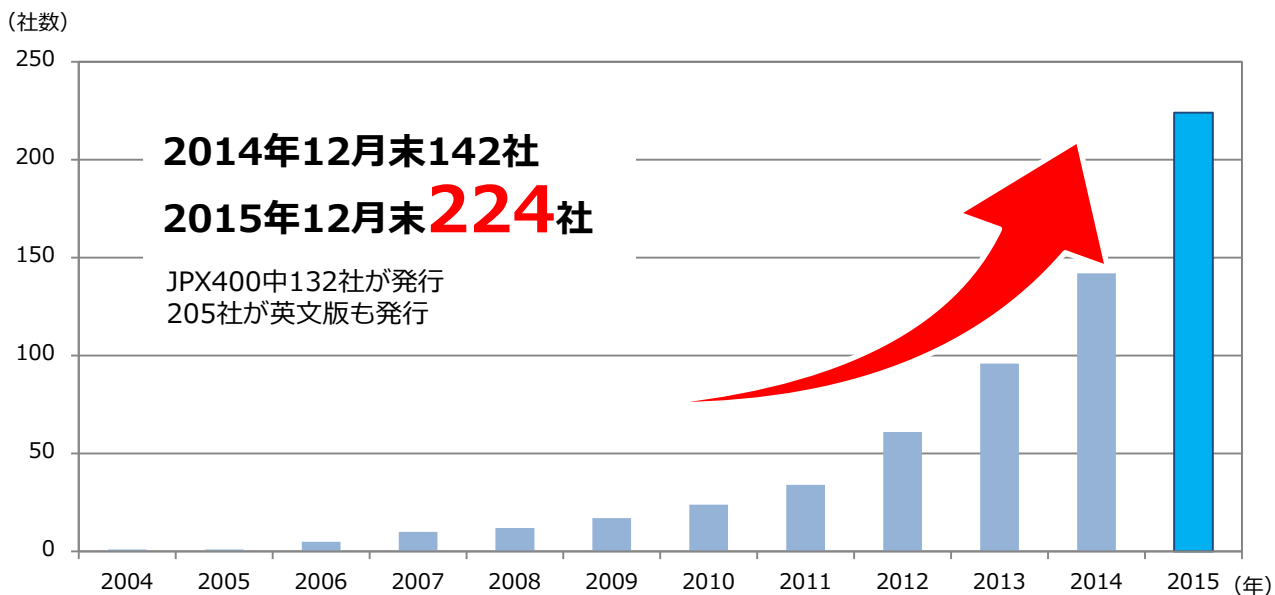


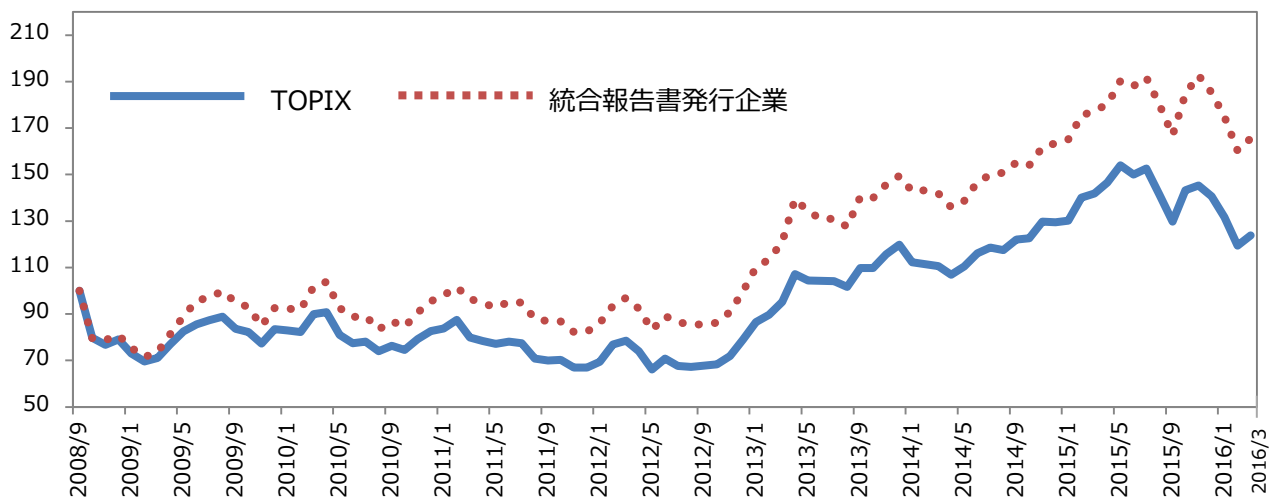
ESG/統合報告研究室では、統合思考に基づく企業コミュニケーションの潮流を調査研究する一環として、統合報告書の発行企業を調査しています。その調査によると、2015年末までに統合報告書を発行した企業は前年から82社増え224社となりました。

発行企業が増加の一途を辿る中、当レポートでは224社のレポート内容を分析し、その動向を広く皆様に発信することを狙いとしています。第一回となる今回は、発行企業の業種や規模感、発行時期、社外役員とのエンゲージメント状況についてご報告します。

## 【統合報告書発行企業数（2015年12月末）】



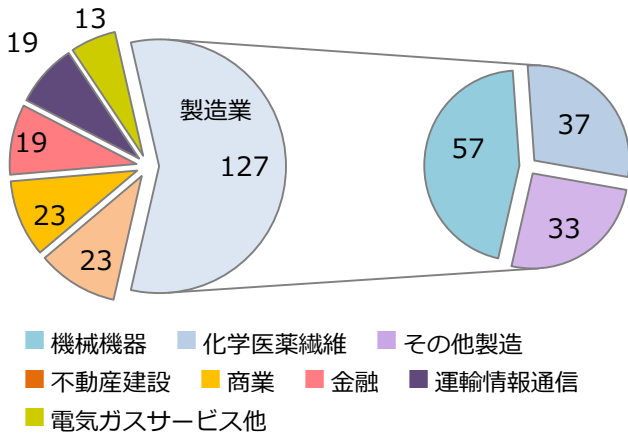
## 【上記銘柄の合成株価（2016年3月末）】



注：2015年12月末時点での統合報告書発行企業224社の内9社の未上場企業を除き215社の株価を指数化した単純平均値比較。

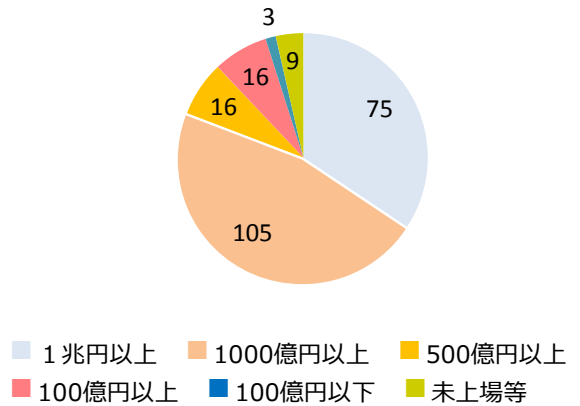
統合報告書発行企業は2015年の1年間で82社増加しています。また、統合報告書発行企業の株価インデックスはTOPIXと比較し、良いパフォーマンスで推移していることが分かります。

### 【上記銘柄の業種別割合】 (単位：社数)



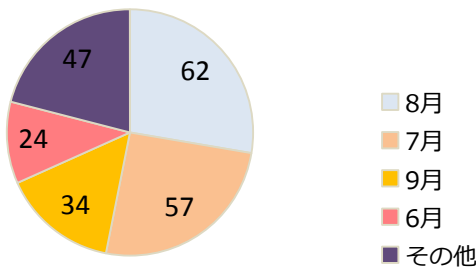
製造業が半数以上を占めていることがわかります。中でも電気機器、化学、医薬品は15社以上を占めています。

### 【上記銘柄の時価総額別割合】 (単位：社数)



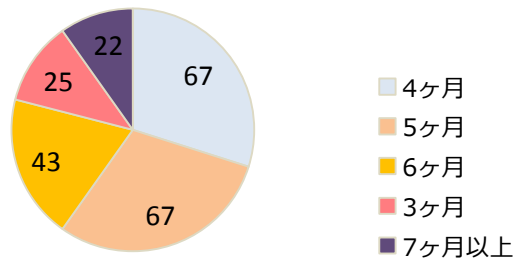
時価総額別割合をみると、2015年12月末時点で、時価総額1,000億円以上の企業が実に8割を占めています。

### 【統合報告書の発行月】



発行月は、7月～9月に集中していることが分かります。グラフには表示していませんが、3月決算の企業が8割以上を占めているためと考えられます。

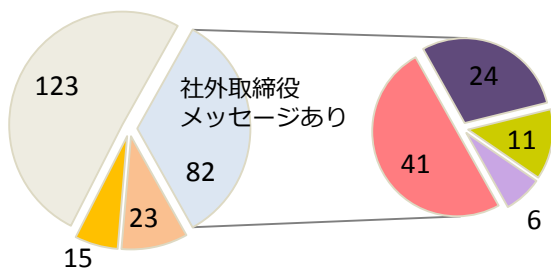
### 【決算月から発行までの所要月数】



所要月数は、4ヶ月～6ヶ月の企業が実に8割近くに上ります。株主総会後の第2四半期の時期に発行が集中していることが読み取れます。

### 【社外役員の対話等の状況】 n=243 (単位：社数)

(注)重複している会社があるためn=224とならない



■ 社外役員メッセージ等なし  
■ 社外監査役メッセージあり ■ 社外役員との対談あり  
掲載人数 ■ 1人 ■ 2人 ■ 3人 ■ 4人以上

224社中、実に101社もが何らかの社外役員のメッセージを出しています。そのうち、社外取締役のメッセージと社外監査役メッセージないし対談が重複している会社は19社です。

(出所) 宝印刷総合ディスクロージャー&IR研究所 ESG/統合報告研究室の調査による